

那 覇 市 教 育 委 員 会 会 議 録

令和4年度（2022年度）第5回（定例会）

署名人 二木 志保

教育長 山城良嗣

開催日時 令和4年（2022年）6月1日（水）

開会 午後2時00分

閉会 午後2時23分

開催場所 那覇市役所11階 1101A・B会議室

出席者

〔教育長・教育委員〕

山城良嗣教育長、本仲範男委員、仲本千佳子委員、二木志保委員

〔事務局職員〕

【生涯学習部】小嶺理部長、稲福喜久二副部長

（総務課）石川泰江課長、稲森恵子副参事、赤嶺明日香主幹、松井都矢子主査

（中央図書館）島袋元治館長、上原善英主幹

【学校教育部】名嘉原安志部長、仲宗根浩副部長

議事日程 ※日程1は非公開。ただし、委員の委嘱後に公開。

- 1 議案第6号 那覇市立図書館協議会委員の委嘱及び任命について【中央図書館】
- 2 報告1 第3次那覇市教育委員会中期定員管理計画の策定について【総務課】

山城教育長 はいさい、こんにちは。会議を始める前に、本日、山城委員から欠席の連絡がございました。定足数は足りておりますので、会議を進めてまいります。それでは、令和4年度第5回教育委員会会議（定例会）を開催いたします。

本日は、議案が1件、報告が1件となっております。会議録の署名は二木委員にお願いいたします。

それではまず、非公開について諮りたいと思います。議案第6号は、個人に関する情報が含まれるため、非公開とすることが適当であると思われます。ただし、会議録は委員の委嘱後に公開したいと思います。議案第6号を非公開としてもよろしいでしょうか。

委員全員 異議なし。

山城教育長 異議なしとしますので、非公開といたします。関係者以外は退席をお願いします。

～ 非公開 ～

山城教育長 これより審議に入ります。議案第6号「那覇市立図書館協議会委員の委嘱及び任命について」を議題といたします。生涯学習部小嶺部長、お願いします。

小嶺部長 議案第6号「那覇市立図書館協議会委員の委嘱及び任命について」、那覇市立図書館協議会委員を別紙のとおり委嘱及び任命する。提案理由であります。那覇市立図書館協議会委員の辞職により、図書館法第15条及び那覇市立図書館条例第5条の規定に基づき、後任の委員を、委嘱及び任命するのでこの案を提出します。内容につきましては、館長のほうから説明します。

山城教育長 中央図書館 島袋館長、お願いします。

島袋館長 資料の1ページをご覧ください。今回、委嘱及び任命する方の名前がございます。委嘱の欄、発令日は令和4年6月3日、任期は令和5年8月15日までとなっています。任期については残任期間、前の方の残っている期間ということで、この任期となります。まず1番目、平井りい子、学校教育関係者。今年から、沖縄女子短期大学の児童教育学科特別任用教授に就任しています。2番目、浦崎直己、社会教育関係者。社会福祉士。次に任命の欄、徳門敦子、学校教育関係者。現在の真和志小学校の校長先生で、那覇地区学校図書館協議会会長もなさっています。2ページをご覧ください。今回の3名の委員の前任の方、解嘱される方をお伝えします。1番目、会長でありました吉田肇吾、沖縄国際大学の日本文化学科の講師で、今年度、退任なさるということで、今回辞任したいということでした。2番目、廣瀬真喜子、学識経験者で沖縄女子短期大学の児童教育学科の教授です。業務上忙しくなったということ、辞退したいということでした。3番目、野原洋子、小学校の校長先生で、転勤になりましたので辞退となっております。下の表が委員一覧となっ

ております。説明は以上です。

山城教育長 ただいま、中央図書館の方から提案がございました。この件について、ご質問・ご意見等ありましたらよろしくお願い致します。仲本委員お願いします。

仲本委員 協議会は年に何回くらいあって内容はどんなことを話す協議会でしょうか。
島袋館長 年に2回ありまして、図書館の運営の指標がありますので、その外部評価をしていただいたり、年間の事業計画、あと関係者の意見を頂戴いたしまして、それを図書館運営に活かしていくということを行っています。

仲本委員 ありがとうございます。

山城教育長 よろしいでしょうか。他ございませんか。それでは議案第6号那覇市立図書館協議会委員の委嘱及び任命については原案の通り決定してよろしいでしょうか。

委員全員 異議なし。

山城教育長 異議なしとのことですので、議案第6号「那覇市立図書館協議会委員の委嘱及び任命について」は議決といたします。ありがとうございました。

～ 非公開 ～

山城教育長 非公開を解きます。報告に移ります。報告1「第3次那覇市教育委員会中期定員管理計画の策定について」説明を、生涯学習部小嶺部長お願いします。

小嶺部長 報告1「第3次那覇市教育委員会中期定員管理計画の策定について」、第3次那覇市教育委員会中期定員管理計画の策定について別紙のとおり報告します。報告理由であります。当計画の策定について対応を決定したため、報告します。詳細については、総務課長より説明いたします。

山城教育長 石川課長お願いします。

石川課長 よろしく申し上げます。まず資料の1ページ、第3次那覇市教育委員会中期定員管理計画の策定についてが、今回の報告内容となります。報告内容の前に資料のほうから説明させていただきたいと思います。2ページをご覧ください。こちらが、第2次那覇市教育委員会中期定員管理計画でございます。こちらは、教育委員会の中期的な定員管理計画として、「2 計画の期間」にございますとおり、平成27年4月1日から平成32年（令和2年）の4月1日までの5年間の計画として策定されております。5ページをご覧ください。5ページが計画の内容となりますが、「(2) 基本方策」にありますように、組織機構の見直しや現業職の不補充、学校給食の調理業務・搬送業務の委託継続、公民館の指定管理者制度の導入の推進、図書館の業務委託の推進及び指定管理制度導入検討などに取り組み、「(3) の定員数値目標」を市全体の方針となる中核市なは定員管理方針に基づき、414人程度維持（抑制）するとした計画となっております。この結果といたしまして、

平成 32 年（令和 2 年）の定員は 314 人となっております。目標 414 人と 100 人の差がございますが、これは計画策定当時、検討されていなかった幼稚園の認定こども園化がこの間に進みまして、教育委員会の定員でありました幼稚園教諭 100 人が市長事務局へ移った為の差となっております。参考に、当時の市全体の方針、中核市なは定員管理方針を 6 ページに添付してございます。この方針の期間終了後、平成 30 年度に市全体の方針が更新され、これまでの定員抑制から増員という方向に変わります。この増員していくとする市全体の方針が 17 ページの資料 3、定員管理方針で平成 30 年度から平成 34 年度（令和 4 年度）の方針となっております。25 ページをご覧ください。「(3) 定員数」が、平成 34 年（令和 4 年）4 月 1 日において 2,400 人程度となるよう、毎年 10 人を目途に増員を図るとしております。結果といたしまして、令和 4 年 4 月 1 日の定員が 2,414 人となっております。資料、戻っていただきまして 2 ページをお願いいたします。第 2 次那覇市教育委員会中期定員管理計画の期間が、平成 32 年（令和 2）年 4 月 1 日までであったことから、次期計画案策定について令和元年度に検討を行いました。その時点で未確定事項が多く、中期的な計画の策定が難しい状況であったことから、令和 4 年度で終期を迎える先ほどの 17 ページの定員管理方針の更新と併せた策定を考えておりましたが、26 ページをご覧ください。市長部局のほうでも、定員管理方針の期間延長についてということで、新型コロナウイルスの収束見通しがつかないこと、地方公務員法の改定により定年の引き上げ、役職定年制等の本市の制度設計が未定であること等より、定員管理方針の期間が令和 4 年度から令和 6 年度へ 2 年間延長することが決まりました。市全体の方針が延長されたことによりまして、那覇市教育委員会単独で次期計画を策定することが困難であることから、1 ページ、第 3 次那覇市教育委員会中期定員管理計画の策定について、次のとおり対応していきたいと考えており、その内容について報告させていただきます。内容を読み上げさせていただきます。第 3 次那覇市教育委員会中期定員管理計画の策定について、令和 4 年 5 月 25 日、教育長決裁、1、第 3 次那覇市教育委員会中期定員管理計画（以下「次期計画」という。）の策定について、令和 6 年度までに次期計画を策定する。2、次期計画策定の延長理由、（1）第 2 次那覇市教育委員会中期定員管理計画（以下「計画」という。）の期間が平成 32 年（令和 2 年）4 月 1 日までであったが、令和元年度時点で次期計画策定に大きな影響を与える次の内容が未確定であったため、次期計画については、市全体の方針である「定員管理方針」（以下「方針」という。）の更新に合わせた策定を予定していた。①会計年度任用職員制度の導入、②沖縄振興特別推進交付金事業の終了、③現業職（調理員）の採用の必要性。（2）方針の期間が次の理由より令和 6 年度まで延長されることとなった。①新型コロナウイルス感染症に迅速かつ弾力的に対

応していく必要があるが、収束の兆しが見えないため、現段階での予測が困難なため。②地方公務員法の改定（令和5年4月1日施行）により定年引上げ、役職定年制及び定年前再任用短時間勤務制度等の導入が予定されているが、本市の制度設計がこれからであるため、現段階での予測が困難なため。③国におけるデジタル社会形成の実現に向けた改革等を背景とした本市のDX推進の進捗を見極める必要があるため。（3）中期的な見通しが難しい中、方針の期間も延長され、教育委員会単独で計画を策定することが困難であるため。3、その他、次期計画が策定されるまでの間の定員管理は、これまでの計画や方針を踏襲しつつ、毎年度策定する「組織定員管理運営方針」で具体的な考え方を示し、適正に管理していくものとする。」という内容でございます。次期計画策定の際には、教育委員会会議にお諮りし決議頂きたいと考えております。報告は以上となります。

山城教育長 ただいま総務課の方から説明がございました。この件に関してご質問・ご意見等ございますでしょうか。本仲委員、お願いします。

本仲委員 ここ2年の間に定員管理計画が策定されていくということで宜しいでしょうか。
石川課長 はい。

山城教育長 他、どうでしょうか。二木委員お願いします。

二木委員 確認ですが、当初、第2次策定時は定員を削減するという方向であったのが、今は、増加していくということで。その辺は事情はどういうところから来ているのか、大きい話だと思うんですけど教えていただけますか。

石川課長 まずこれまでは、現業職、調理員や運転手、用務員に関しましては、退職したらそのまま採用せず、定員数を減らしていくという方針だったんですけれども、現状、教育委員会において調理員に関しては、本務の職員をおかないと、委託したとしても委託先の管理・監督が難しくなるため、職員として指導できる立場の人を置かないといけないという考え方が出てきています。それで職員を採用していかないといけないという考えで、市長部局とも採用してほしいということで調整している所でございます。

小嶺部長 補足です。平成8年当時、3,300人ほどの職員数でしたが、行政改革の一環で、本務職員がやる仕事はどれなのかとか、非常勤職員がやる職は何なのかとか、臨時職員に任せられる職は何なのか、というのを見直しといいますか、事務の効率化なども含めて削減計画を立てていました。その時、現業職もたくさんいて、現業職は不補充ですと。保育士さんも民間委託等を視野に入れていたので、退職の半分の数、保育士さんは採用しようとして、計画を長いことかけてやっていたんですが、ある程度一定の所にくると、逆に、生活保護とか、いろいろな課題が出てきて、本務職員が担うようなものがどんどん増えてきていると。それで、ある一定の所で、2,200プランとして目標としていたのが、それが中々たちゆかなくて、今度は増や

す方にかじをきってきたと。それも大幅ではなく、状況に応じて増やしていきましよう。ただ、現業職だけはそのまま退職不補充できていて、調理現場、清掃、環境業務の所は、1番若い職員で40歳を過ぎています。委託するにしてもコアの部分、震災が起こったりして災害が起こった後、現業職が担うものは、委託もできなくて、では行政どうするのといったような話も出て、一定規模の現業職、清掃にしても調理にしても残す必要がある。というふうに考え方が変わってきています。那覇市全体の考え方が変わってきているものですから、それと先ほど話していた定年延長や、コロナの部分が出てきておりますので、実際、去年からは保健師職の採用を前倒しで、採用していったり、弾力的な定員管理を行っています。そういう、今見えない中での3次の策定が厳しいというところで、市全体の計画が6年に定まるので、その内容を見ながら教育委員会も連動して作る方が望ましいだろうということで、今回、何もない状態より、6年度に策定しますよと示しています。また、計画はないんだけど、どうしていくかというのが、3番、その他で毎年の組織定員管理運営方針の中で具体的なものは示しながらやっていきます、という考え方を示しています。それがないと、期間が切れて2年もたって大きな計画もないのというのがあります。今回、そういう策定へ向けての考え方です。

山城教育長

よろしいでしょうか。この1ページの次期計画策定の延長理由(1)が現在2次計画の期間が終わってしまってますよ。第3次を作ろうと思っていたんですが全庁的な方針がまだ出てないので、それらがまだできていませんよ。(2)で、なぜ全庁的な方針ができないのかというのは、以下の3つの理由からと。そうなると宙ぶらりんの状態になるので、令和6年度に策定はするんだけど、その間は、3番目、その他で、これまでの計画をベースに毎年策定する組織定員管理運営方針で、その間は定めていきましょう。というのを、今回まとめたということですね。これは委員会として持っているが、全庁的なものとのすり合わせというのは。

小嶺部長

全庁的なものは、一番最後の26ページにありますように、計画を2年間伸ばしているの、それはそのままありますので、それも踏まえながら、毎年度の組織運営方針を定めるということです。

山城教育長

はい、それでは、ほかにご意見等ありますか。それでは報告1「第3次那覇市教育委員会中期定員管理計画の策定について」、は終了いたします。ありがとうございました。

案件の審議結果

議案第6号	那覇市立図書館協議会委員の委嘱及び任命について	原案どおり可決
-------	-------------------------	---------